

## I. 設計条件

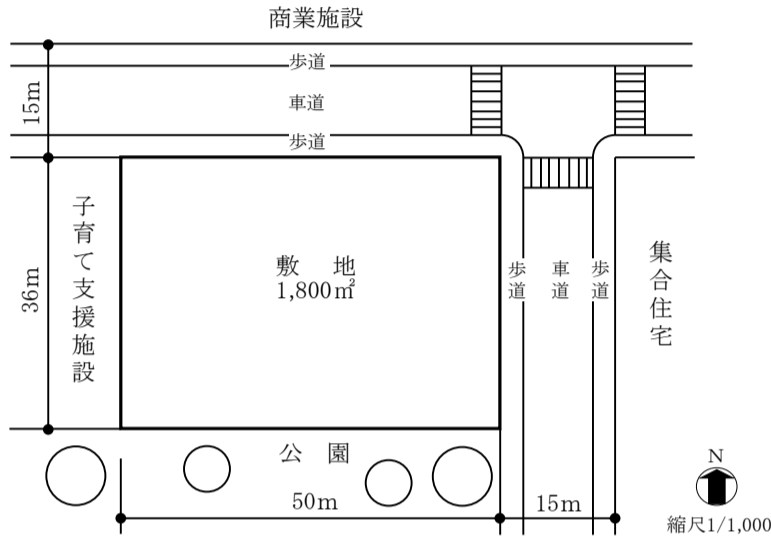
この課題は、中核都市の市街地において、健康増進のためのエクササイズ等を行う温水プールのある「健康づくりのためのスポーツ施設」を計画するものである。

本施設は、障害者を含む子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する地域住民が利用できるスポーツや文化的活動の拠点であるとともに、地域住民の交流の場となるものとする。

また、計画に当たっては、防火設備、避難施設等を適切に計画するとともに、パッシブデザインを積極的に取り入れるものとする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、第二種住居地域及び準防火区域に指定されている。また、建蔽率の限度は70% (特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は300%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は、表層から2.0mの深さまでは軟弱な表土であり、2.0m以深は良好な地盤(N値=45程度の砂礫層)である。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2. 建築物

- (1) 構造、階数等  
構造種別は自由とし、地下1階、地上3階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計  
地下1階を除く床面積の合計は、2,600㎡以上、3,100㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー及び屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティを屋内的用途に供するもの(娯楽・運動スペース、設備スペース、駐車場等)については、床面積に算入するものとする。
- (3) 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
スポーツ部門	プール室	・スポーツ部門の各室は、素足又は上履きで利用する計画とする。 ・プール室と更衣室との間のプール専用の動線に配慮した計画とする。 ・地上2階に計画する。 ・プールは、長さ20m、幅9m、最深1.2mとする。 ・天井高(天井のない場合は、梁下端までの高さ)は、最低部分の高さを6.5m以上とする。 ・屋上テラスとの動線に配慮する。 ・採暖室を設ける。 ・プール室の入口に足洗槽を設ける。	適宜
	監視室	・プール室を見渡せる位置に計画する。	適宜
	トレーニングルーム	・各種運動器具を利用してトレーニングを行う。 ・ドリンクコーナーを設ける。	約200㎡
	スタジオ	・エアロビクスダンス、体操、ヨガ、太極拳等を行う。 ・壁の一面に鏡を設ける。	約100㎡
	更衣室(計2室)	・プール室、トレーニングルーム及びスタジオの利用者が使用する。 ・男性用、女性用として、それぞれロッカー、洗面コーナー、シャワー、サウナ、便所を設ける。	約120㎡ (計約240㎡)
	浴室(計2室)	・男性用、女性用として、それぞれの更衣室に洗面コーナーを設ける。	約35㎡ (計約70㎡)
	指導員控室 器具庫	・男性用及び女性用の更衣スペースを設ける。	適宜 適宜
文化部門	多目的室	・地域住民のサークル活動、会議、セミナー、ワークショップ等に利用する。 ・2室に分割して、それぞれ個別に利用できるようにする。	約100㎡
	和室	・囲碁、将棋、華道、茶道等、多目的に利用する。 ・2畳とし、床の間及び押入れを設ける。	適宜
共用・管理部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・まとまったスペースの吹抜け(約70㎡)を設ける。 ・吹抜け部分には梁を設けない構造計画とする。	適宜
	ラウンジ	・施設利用者の休憩、交流、待ち合わせ等のためのスペースとする。 ・自動販売機コーナーを設ける。	約100㎡
	レストラン	・テーブル、椅子(60席程度)、レジカウンター等を設ける。 ・厨房を設ける。	適宜
	スポーツショップ	・スポーツ用品、健康食品等を販売する。 ・レジカウンター等を設ける。	約50㎡
	事務室	・事務スペース(5人分)、更衣スペースを設ける。 ・受付カウンターを設け、施設利用者の入退館の管理、スポーツ部門及び文化部門の料金徴収を行う。	適宜
	医務室	・施設利用者が一時的に静養できるベッドを設ける。	約30㎡
共用・管理部門	電気・機械室	・地下1階に計画し、電気、給排水衛生、温水プール用(熱源設備、ろ過機、ポンプ等)、消火設備等を設ける。 ・設備機器の搬出入及び更新に配慮する。	約250㎡
	空調設備スペース	・採用した空調方式に応じて、空調機械室又は設備スペースを、屋内又は屋外に計画する。	適宜
・便所、職員等の出入口、倉庫及びゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室、什器等は、適宜計画するものとする。			

### 3. 屋外施設等

- (1) 「屋上テラス(植栽、通路、屋外ファニチャー等を含む。)」を、2階床レベル(建築物の1階の屋上)に、まとまったスペースで80㎡以上設け、プール室から自由に入出りができるようにする。
- (2) 敷地内の「駐車場」は、地上に平面駐車とし、サービス用として2台分、車椅子利用者用として1台分(計3台分)のスペースを設ける。なお、施設利用者及び職員用の駐車場は、近隣の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてもよい。
- (3) 敷地内の「駐輪場」は、施設利用者用として30台分を設ける。

### 4. 建築物の計画に当たっての留意事項

- 建築物の建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- (1) 敷地の周辺環境に配慮して計画する。
  - (2) バリアフリー、省エネルギー、セキュリティ等に配慮して計画する。
  - (3) 各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
  - (4) 建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
  - (5) 構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を配置する。
  - (6) 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

## II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。(※答案用紙Ⅰは、A2サイズの5mm方眼用紙)

### 1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。  
なお、各図面には、建築計画、構造計画及び設備計画において留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 配置図 1/200	① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(P S)、ダクトスペース(D S)、電気シャフト(E P S)〕、煙突の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 延焼ライン(一点鎖線で図示する。) チ. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 ② 1階平面図・配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 敷地内の駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ. 屋外階段及び建築物の屋外への出口から道又は公園等に通ずる敷地内の避難上必要な通路 ニ. 地下1階部分〔電気・機械室及び空調機械室(地下1階に設けた場合)の位置を点線で図示し、室名を記入する。〕 ホ. 通路・植栽等
(2) 2階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路を図示し、その一に至る歩行距離及び重複区間の距離 ロ. 屋上テラスの面積、植栽、通路、屋外ファニチャー等 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 3階平面図 1/200	④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路を図示し、その一に至る歩行距離及び重複区間の距離 ロ. 2階の屋根、ひさし等となる部分
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、プールを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎(基礎構造の形式及びその範囲を明示する。)、壁、梁及びスラブの断面を図示する。

### 2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

- ※算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。
- (1) 建築面積を記入し、その算定式も記入する。
  - (2) 地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

### 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① スポーツ部門の「はきかえ」(上足・下足)に配慮した動線計画について考慮したこと
  - ② プール室と更衣室との間の動線計画等(ドライゾーン・ウェットゾーン)について考慮したこと
  - ③ 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火設備等の計画及び防火区画(面積区画・堅穴区画)等の計画について考慮したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - ② プール室の構造計画について考慮したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① プール室の空調調和設備において、採用した空調方式と採用した理由
  - ② 温水プールの熱源設備において、採用した熱源方式と採用した理由
  - ③ 建築物の省エネルギーにおいて、自然採光の促進及び日射遮蔽の観点から考慮したこと

